

R2.12.24(木)



★
 美味しい食事にプレゼント
 最高の1日になりました
 ★

里だより

No.349

令和3年2月1日

—発行—

菊池郡大津町平川400番地

社会福祉法人 清和会

つくしの里

TEL 096-293-1550

FAX 096-293-1579



編集後記……………7	行事予定 ありがとうございました	事務局より サービス向上委員会より 行事報告……………5	職員より……………4	主任より……………3	業務部より……………2	施設長より……………1	二月号もくじ
------------	---------------------	------------------------------------	------------	------------	-------------	-------------	--------

(ページ)

つくしの里 ホームページ

<http://www.tsukushinosato.or.jp>



施設長より

新年度に向けて



立春とはいえ、まだまだ厳しい寒さが続いておりますが、ご家族・後見人並びに関係各位には、益々ご健勝にてご活躍のことと存じます。

昨年は、新型コロナウイルスに明け暮れ、新型コロナウイルスに振り回された一年となりました。

利用者の皆さんには、感染への予防と命を守ることを最優先とし、在宅からの利用制限や、施設にあつては行事の縮小または中止、更には外出・外泊の制限。また、ご家族にあつても面会の中止等、利用者さんの楽しみを全て奪う結果となり、大変申し訳なく心痛める結果となりましたが、施設ご利用者・職員共に感染者が出ず、安心・安全が確保され新年を迎えられたことは何よりでした。

これも職員を始め、利用者さんとそのご家族の皆さんが一丸となつて、日々の衛生管理の徹底と三つの「密」を避け、外出の自粛や「うつらない」「うつさない」「持ち込まない」を徹底していただいた結果の賜物と感謝しております。

県内においても年明け早々から感染が益々拡大しており、何時・誰が感染してもおかしくなく、いまだ予断を許さない状況です。引き続き、施設内の衛生管理を徹底して感染予防に努めて参りま

すが、一日も早く明るい兆しが見え、施設・利用者さん共々、平穏な一年となりますよう心から願うばかりです。

さて、施設にあつては、令和三年度の組織体制・事業計画(案)・予算(案)等、二月末までには最終案としてまとめ上げるべく、新年度に向けての準備を進めているところです。

利用者さんの中には、つい最近まで「コロナは何時終わりますか」「担当職員と外出はできませんか」「家に帰れますか」などの質問がほとんどでしたが、この時期になると気の早い利用者さんはコロナのことは忘れたかのように関心事が一変し、次年度のご本人の所属する班や担当職員が誰になるのか気にかかり、それとなく園長室に情報収集に來られる方もいます。

利用者さんにとっては毎年のことながら、新年度に向けての一番の関心事であり、そろそろ施設の中がざわつき始めています。あと二カ月間、コロナと相まって新たなストレスの溜まる落着かない日々が続きそうです。

施設長 小川 眞司

年の初めはうっすらと雪化粧でした



業務部より



一月は行く 二月は逃げる 三月は去る

二〇二一年の幕開けから早一カ月ですが、相変わらず世界中がコロナウイルス一色のまま「ウイズコロナ」の実現には程遠いようです。

世間はどうかであれ、年度末は容赦なく差し迫ってきます。事務局が最も慌ただしくなる時期です。この原稿を書いている内に、一月は行ってしまいます。これから三月まで業務が目白押しですが、やはり予算計上は一番骨が折れます。

当法人では、各部署からあがってくる数字を積み上げて予算を作成していきます。

次年度の当初予算を作成する際は、驚くような金額の見積書が手元に届くこともあります。「利用者さんのためにこれは良い！」という気持ちが一番優先なのでしょう。

収支バランスを考えるのは私の担当なので構わないのですが、何がどう良くて、どういう効果を得るために、どうしても必要なのかどうか、十分吟味して欲しいというのが正直な気持ちです。また、当年度最後の補正予算を作成する際は、毎年、不思議な事象が起きます。年度末に近づくにつれ、色々な物が破損したり故障したりするのです。やっと数字が固まりそうな段階になると、大きなお金が動く固定資産が故障したこともあります。油断できません。かといって、用心して多めに数字を積んでおくと何事もなかったりします。

長年、予算に携わっていますが、一向に要領を得ません。何度も計算する内に訳がわからなくなることもしばしばです。

そんな時、頼りになるのは事務員で、前もって勘定科目ごとに金額を出してもらい、事前に連絡を受けた分の計上漏れがないか等、しっかり確認してくれます。そうした協力を得て、毎年なんとか、最終の補正予算と次年度の当初予算を仕上げています。

間もなくその時期です。

各部署の予算案を見ている間に二月が逃げていくのでしょうか。数字に翻弄されがちな私は、日常業務をこなしながら予算を進めていくことに大きな困難を伴います。一人で集中して計算するために、二月以降は勤務を変更し、土・日に出勤して事務室に籠ります。例年ならば、外泊や外出のお迎えにいられたご家族との会話で、ほっと一息つくのですが、今年は難しいかもしれません。尚更、寂しい限りです。

新年度の事業計画の策定と、年度内に完了しなければならぬことに優先順位をつけて取り組み、無事に今年度の終わりと新年の始まりを迎えたいものです。

そして、三月が去った後には、この鬱々とした暗い空気の世界に、温かく穏やかな春が訪れることを祈るばかりです。

業務課長 光永 明日美



主任より

ありがとうございます



私はこれまで様々な運動競技に携わる機会がありました。空手やバスケット・テニス等を学生の頃に学び、社会人になってバレーボールやスノーボード等、何かと経験し、三十代後半には初めてバドミントンに触れて、五年が経過しました。こんなに上達を目指して継続的に努力することは初めてです。

私にとってバドミントンは、家族や友人とシャトルを繋げて楽しく遊ぶものとしか思っていなかったのですが、習い始めると、いかに相手のスキをつけて勝利を得るかという認識に変わり、今までにない感情でした。

始めて間もなく試合の案内が来て、安易に出場しました。小学生も交えてのトーナメント戦、初戦敗退しました。

その後のダブルスの練習では、私のシングルスのような動きを指摘され、相手といかにチームワークをとるのかを教わりました。また、フットワークで無駄な動きをすることなく、体力の維持を図ることを知りました。

相手の動きを見て、シャトルが返って来る方向を見極め、フォームを作ってから打ち返す。これがなかなか身につかず、この動作を早く行うには難しい課題がたくさんあります。

これらを年下の二十代・三十代の先輩方に教えて頂きました。競技とはいえ、自分の生活スタイルや周りの人との関わり、更に自分を見つめ直すことも含めて教えられているように感じています。

つくしの里カレンダー2021

4名の利用者さんが描いた絵を組み合わせて作成しました。
今年の干支の「丑」と雄大な阿蘇の景色、そして大切な家族。
それぞれの想いがギュッと詰まったカレンダーです。



ます。

しかし、体力は当然四十代でしかありません。それでもサークルの先輩には「この年でもやれる！という憧れの対象にもなれますよ！」とも言われ、憧れる対象になるなんて、ありえないと思いつつ、そんな言葉をかけられて嬉しくもありました。

その時その時の目標を与えられ、励み、成長できるチャンスもあり、嬉しいことや楽しいこと、充実した時間をもっていることは、本当に感謝です。

主任支援員 池田 亜紀

職員より

今年度も生活介護班 5 班を担当させて頂いています。以前勤めていた会社では、腰痛予防を目的に仕事の合間にストレッチをしていました。ふと、その頃の事を思い出し、主任に相談してストレッチの時間を設けて頂きました。座って行う作業が多いので、毎日欠かさず取り組み、腰痛予防に努めたいと思います。

さて、5 班では毎月決められた納期の中で、利用者さん一人ひとりが戦力となって作業に取り組まれています。しかし、様々な利用者さんがいらっしゃるので、作業量が多くなると責任感の強さから不安になってしまう方や、悩み事から作業が上手く出来なくなってしまふ方も。そのような場合は作業量を分担したり、個別に話す時間を作ったりして対応しています。なかなか自分の気持ちを上手に吐き出せない方もいらっしゃいますので、作業を行いつつ様子を見ながら利用者さんの状態を把握しなければいけません。毎日一緒に過ごしていてもまだまだ理解していない事も多く、初めて気付かされることばかりです。ここに書いている事以外でも隠れている様々な問題があるかもしれません。

人生の先輩でもある利用者さんから教えていただいている事を意識して、今後も関わっていききたいと思います。
(支援員 三木)



先日、生活介護班 2 班の皆さんと初詣に出掛けました。密を避けるため、車から降りての参拝は残念ながら出来ず、車内から手を合わせました。施設に戻って職員が神社で購入したおみくじを利用者さんに引いて頂きました。どんな内容が書いてあるのか職員に尋ねられる方や、「大吉だった」と喜ぶ方もおられ、とても盛り上がりましたよ。その後、皆さんに今年の目標を絵馬に書いて頂きました。「牛乳パック作業を頑張る。」「運動を頑張る。」等、個性たっぷりの絵馬が仕上がりました。
(支援員 山下)



事務局より

約1年間の育児休暇を頂いておりましたが、12月14日付けで復職致しました。新型コロナウイルスの影響で世の中が混乱している中、復帰させていただける環境がある事に感謝しております。

復帰初日、利用者の皆さんに挨拶をすると「子どもは男の子ね？女の子ね？」「待ってたよ」など声をかけていただきました。覚えてもらえていたこと、心配して声をかけてくださったこと、とても嬉しかったです。子育てと仕事の両立が出来るかなと色々な不安がある中、ほっこりした気持ちになりました。

息子は無事に1歳を迎え、ヨチヨチと歩けるようになりました。新型コロナウイルスの感染拡大が収まらず、外出も制限される世の中ですが、私たちにできる最大限の対策を継続し、終息に向かうことを願っています。
(事務員 黒田)

サービス向上委員会より

■ 芸術・スポーツ【支援員 東・後藤・尾崎カ】

私達は、利用者さんが芸術やスポーツに親しんで頂けるよう活動しています。芸術部門では、皆さんが作成された様々な作品を施設の廊下に飾り、展示会を行っています。

また、初詣に行けない利用者さんの為に施設内に「つくし神社」を作りましたよ。絵馬を飾ると一気に厳かな雰囲気になり、手作りのおみくじと一緒に新年の気分を味わって頂きました。



行事報告

※ 12/21 (月) ~ 1/20 (水) の実施分について報告いたします

★ ハートフル作品展示会【12月22日(火) ~ 26日(土) 熊本県立美術館分館】

11名の利用者さんが活動時間に作成した作品を出展しました。貼り絵や書道・絵画等、皆さんの自信作が美術館に並びました。残念ながら、見学には行く事が出来なかったのですが、終了後に施設の渡り廊下に作品を展示し、小さな展示会をしています。一つひとつの作品が皆さんの目を引き、楽しませてくれています。素敵な作品をありがとうございます！
(支援員 尾崎カ)



★ クリスマス会 【12月24日（木）つくしの里】

例年ならばボランティアさんに参加して頂き、様々な出し物で盛り上がるクリスマス会ですが、今年は職員一丸となって利用者さんに楽しんで頂けるようにレクリエーションや仮装で盛り上げました。とても喜んでもらったのですが、やはりサンタのプレゼントには敵いませんでした。来年度は通常通りのクリスマス会が出来ますように。（支援員 山田）



★ 参拝 【1月13日（水）日吉神社】



密を避けるために時期をずらし、13日に行ってきました。新型コロナウイルスの感染拡大がまだまだ終息の兆しを見せない2021年のスタートとなりましたが、感染症に負けない活気と元気の良さで、利用者さん・職員全員がこの一年を乗り切れるようにと願ってきました。

2021年も良い年になりますように。（支援係長 竹下）

★ 生活介護班⑤班食事会 【1月20日（水）つくしの里】

去年は温泉で癒されてきましたが、今年は施設内で昼食会を行いました。浜勝のお弁当に香梅の和菓子、また、大塚理事より頂きたいきなり団子を食べました。少し量が多すぎたかなと心配しましたが、みなさん残さずに召し上がられ、美味しいという言葉も聞く事ができました。

また、お楽しみ会も兼ねて、カラオケも行いました。みなさん、コロナウイルスに負けんとばかりに、大きな声を出して元気よく歌って下さいました。来年こそは、みなさんの望む場所に外出できるように、あれこれ試行錯誤していきたいと思います。（支援員 池田ト）



※ もちつき大会は中止させていただきました。



施設PR委員会 今月の1枚！

今年から始まった牛乳パックのリサイクル作業。
 班の枠を超えて、希望者が取り組んでいます。
 今月は、工賃を受け取る M さんの姿が印象的な
 この1枚に決定！
 是非好きな物を買ってくださいね！

行事予定

☆ 節分会 (つくしの里)

期 日：2月2日 (火)

内 容：健康な1年になりますようにと願いを込めて豆まきを行います。



ありがとうございます

ありがとうございました



今月の掲載分は、
 令和二年十二月二十一日～
 令和三年一月二十日です

【シヨートステイ・

日中一時支援事業のご利用】

※県のリスクレベルに伴い、受け入れ
 を中止させていただきました。

【寄付・寄贈】

- ・石塚 正司 様 ・佐々木 須美子 様
- ・岩根 亨 様 ・岩根 治美 様
- ・大畠 照雄 様 ・谷崎 信夫 様
- ・今坂 桂子 様 ・西村 美智恵 様
- ・坂田 昌子 様 ・中山 香代子 様
- ・浅山 滉 様 ・大塚 武年 様
- ・中尾 精一 様 ・平田 靖人 様
- ・川上 信代 様 ・トキコロ 様
- ・すまいる 様 ・(株)三協化研 様
- ・肥後木村組 様
- ・日清医療食品(株) 様
- ・(株)アールエスエス 様
- ・リニエルサプライ 様



編集後記

※お詫びとおことわり
 里だより担当では、毎月十分注意して、
 記事の記載、確認をしておりますが、誤字
 脱字等がございましたら何卒ご容赦して
 いただきたく存じます。

誠にありがとうございます。
 利用者さんの為に使用させて頂きます。

寒波により、久しぶりの雪景色となりました。写真で見ると綺麗ですが、マイカー通勤の職員はハラハラドキドキ。

館内のストーブもフル稼働で、利用者さんの井戸端会議に一役かかっていましたよ。

今年の立春は二月三日。いよいよ春がやってきます。コロナ禍で何かと制限されますが、自分が幸せだと感じる時間を見つけ、ストレスを溜めないようにすることが大切です。

